

公益社団法人日本建築家協会東海支部愛知地域会 2020年度通常総会（書面表決方式）
ご意見・ご質問についての回答

【ご意見・ご質問】

- ① 事業計画は例年通りとせず、コロナウイルス禍の事態を受け、状況に対応して見直すとの方針を付け加えたほうが良いと思います。少なくとも社会的離隔距離をまもった事業計画を構築すべきです。今年度事業の中止や延期の羅列はまずいです。いくつか総会通知をオンラインや文書でもらっていますが、従来通りの計画がおおく、組織としての常識が疑われます。（谷口 元 会員／2020年4月24日メール）

〔回答〕

貴重なご意見ありがとうございます。政府の方針ですら、いきあたりばったりで方針を出すことの困難さをご理解いただきたいと思います。事業計画は澤村次期地域会長のご担当ですが私としましては、先行きが不透明ながらコロナをきっかけとして、新しいスタイルにも取り組んでいくべきだと考えています。もうすでに委員会をZOOMなどのWEBで行っています。5月にはWEBでの講演会の企画も進めています。澤村次期会長も状況を見極め必要な活動を進めていかれるものだと思います。今後とも宜しく願いいたします。（吉元 学 地域会長）

新型コロナウイルス感染拡大にあたり緊急事態宣言も延長され、収束の見通しが不確かな状況で、今年度の総会は書面表決方式となりました。このような中、ご意見を賜りありがとうございます。今年度の事業計画につきましては、継続事業も含め地域に密着した活動を進めて行きたいと考えておりますが、ご指摘のようにコロナ禍の事態を受け開催の可否、開催方法の検討、見直しを行ってまいりたいと思います。吉元地域会長から回答がありましたように、早速、オンライン方式によるセミナーの開催を検討しております。具体的には、研修委員会による講演会シリーズ「電腦設計論壇」の第1回目（5/22）をオンラインで開催する予定です。これに先立ち先日、役員が体験会を行いました。今後は役員会や委員会にもオンライン会議を取り入れてはとの意見も出ました。これを機に事業についても公益性、会員への公平性などを踏まえ、新しい取組も進めてまいりたいと思います。今後も愛知地域会の活動にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。（澤村喜久夫 次期地域会長）

以上